

# 本人の心からの希望や価値観、意思決定を支持する「フォロワーシステム」の可能性とは？

自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

第2回

## 意思決定支援 実践シンポジウム

2024年2月23日(金・祝) 13:00~17:30

無料

2006年に国連で障害者の権利に関する条約が締結され、日本は2014年に批准しました。2022年8月には国連による日本政府に対する初回の審査が行われ、同年10月に成年後見制度などにおける代行決定への懸念が示されると同時に、支援付き意思決定の仕組みを確立するよう勧告がなされました。「良かれと思って」周囲の人が本人の代わりに決めるのではなく、本人の「心からの希望や嗜好・価値観」に基づき本人自身が意思決定をし、それを尊重できる社会を目指していくためには、これまでとは別の支援の枠組みを作っていく必要があります。

このような背景を踏まえ、一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク(通称：SDM-Japan)は、2022年10月25日、愛知県豊田市及び日本財団と、障害者・認知症高齢者等の意思決定支援事業に関する連携協定を締結し、2023年2月19日には、同事業の実践を踏まえたシンポジウムを開催し、対面会場・オンライン会場を合わせて245名の方に出席いただきました。

本事業は、障害者や認知症高齢者等で判断能力が十分ではないとされている人が、地域生活や社会参加を継続していくために自らの意思を形成、表明し、自分らしく生きていくための意思決定を支援する仕組みを構築・実践することを目指しています。

今回は、意思決定フォロワー及び支える仕組み(フォロワーシステム)を全国に普及するにあたり、同様の課題に取り組む自治体もお招きし、実践報告と課題の検討を行うためにシンポジウムを開催します。

**会場：オンライン開催 ※Zoom、YouTubeライブ配信による全国オンライン中継**

**対象：成年後見制度や意思決定支援の動向に関心のある自治体、中核機関、社会福祉協議会、NPO/NGO職員、これらの活動に携わる専門職、障害のある当事者・関連団体、市民等**

**定員：オンライン方式 無制限**

**参加費：無料**

**申込先：①Web(右記QRコード又はURL)**

<https://forms.gle/8H1pGMaQBZSBSbx19>

**②E-mail [fukushi-sodan@city.toyota.aichi.jp](mailto:fukushi-sodan@city.toyota.aichi.jp)(豊田市福祉総合相談課)**



**締切：2024年2月19日(月)**

**主催：一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)**

**共催：豊田市、日本財団**

【問い合わせ】

①申込方法…豊田市福祉総合相談課

Mail : [fukushi-sodan@city.toyota.aichi.jp](mailto:fukushi-sodan@city.toyota.aichi.jp) TEL : 0565-34-6791

②プログラム内容…日本意思決定支援ネットワーク

Mail : [info@sdm-japan.net](mailto:info@sdm-japan.net) TEL : 050-5534-4004



最新情報はこちら→

<https://sdm-japan.net/what-we-do/local-government-projects/symposium2023>

13:00～13:10 開会

開会あいさつ・趣旨説明

一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク（SDM-Japan）代表理事 名川 勝  
「豊田市・SDM-Japan・日本財団が目指す意思決定支援の形とは？」

【第一部】

13:10～13:55（45分）

基調講演

同志社大学社会学部教授・社会福祉士（全体委員会副座長） 永田 祐  
「地域福祉の推進と共生社会の実現～持続可能な権利擁護支援モデル事業の現状と課題～（仮）」

13:55～14:40（45分）

自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業の進捗について

- ① 豊田市の取組み：安藤 亨（豊田市福祉総合相談課権利擁護支援担当長）
- ② SDM-Japanの取組み：名川 勝（研修WG座長）／水島 俊彦（アドボケートWG座長）／森地 徹（評価WG座長）
- ③ 日本財団の取組み：袖山 啓子（日本財団公益事業部）

14:40～14:55（15分）

休憩／第一部アンケート

【第二部】

14:55～15:35（40分）

実践報告「意思決定支援」への実践的取組み

- ・福岡県大川市：意思決定サポーターを支えるしくみと実践（石山裕子）
- ・愛知県豊田市：意思決定フォロワーの活動について（安藤 亨）

15:35～17:15（100分）

パネルディスカッション

コーディネーター 名川 勝（SDM-Japan代表理事）

テーマ：本人が自分らしく生きていくために必要な意思決定支援の仕組みと実践とは？

- ・本モデルの関係性濫用のけん制効果と意思決定支援の充実効果について
- ・本モデルの課題と全国的普及を進めるための「フォロワーシステム」について

パネリスト

- 石山 裕子（大川市福祉事務所地域福祉係係長）
- 大地 裕介（豊田市社会福祉協議会・豊田市成年後見支援センター長）
- 木本 光宣（特定非営利活動法人ユートピア若宮理事長）
- 袖山 啓子（日本財団公益事業部）
- 永田 祐（同志社大学社会学部教授）
- 水島 俊彦（SDM-Japan副代表理事）

前回のパネルディスカッションの様子



17:15～17:25（10分）

閉会の挨拶

日本財団常務理事 吉倉 和宏

17:25～17:30（5分）

第二部アンケート／事務連絡

17:30 閉会